

# 課題名：レンコンを食害する外来種カメを効率的に駆除する 技術の確立と普及

ねらい

鳴門市では、レンコンの新芽が外来種のミシシippアカミミガメに食害される被害が発生し、問題となっています。

そこで、市販のカニ籠を使用し、カメの行動特性に合わせた設置を行うことにより、カメを効率的に捕獲する技術を普及し、レンコンの食害被害を軽減します。

活動地域・対象

地域：鳴門市 対象：レンコン栽培農家

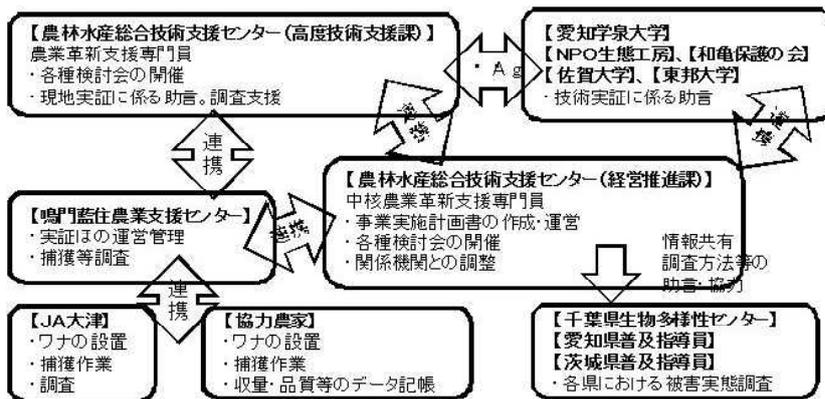
普及活動の目標

- ①カニ籠を使用した捕獲技術を普及する。
- ②外来種カメを捕獲することにより被害の軽減を図る。

目標に向けた活動概要

生産者，JA，専門家，県関係機関が連携して外来種カメ対策に取り組みました。

- ①対策会議，現地調査（6/18～19，3/2）
- ②捕獲調査の実施（4月～9月）
- ③成果報告会（3/2）



捕獲調査



対策会議（6/18）



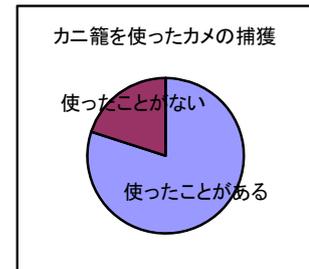
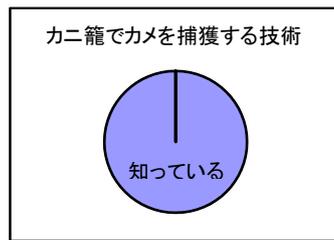
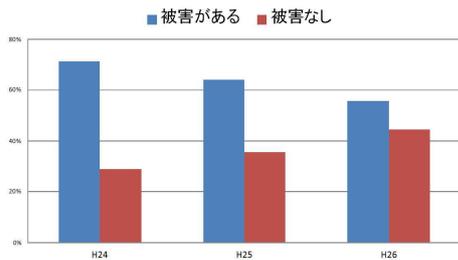
現地調査（6/19）



成果報告会（3/2）

## 普及活動の成果

	アカミミガメ		クサガメ	
	捕獲数(匹)	重さ(kg)	捕獲数(匹)	重さ(kg)
H24	2,863	2,184	2,190	1,268
H25	997	669	587	—
H26	1,782	1,437	1,292	747
計	5,642	4,290	4,069	2,015

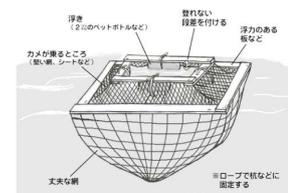


- ・平成26年度は4～9月に約1,800匹の外来種カメを捕獲しました。
- ・平成24年度から26年度の累計で約5,600匹の外来種カメを捕獲調査し、大きいカメの割合が減少していることから、捕獲の効果がでているのではないかと考えられます。
- ・平成26年度は、平成24年度に比べ食害があるとあると回答した割合が減少しました。
- ・成果報告会出席者の捕獲技術認知度は100%で、捕獲技術導入者は80%でした。

用語 【ミシシippアカミミガメ】  
 説明 ミドリガメの名前でペットとして販売されている。要注意外来生物に指定されている。

## 今後の発展方向

- 次年度も継続して捕獲調査を実施します。
- 捕獲ワナの改良を行い、外来種カメを選択的に捕獲する方法について検討します。
- 外来種カメに捕食されていたアメリカザリガニが増えてきたという声もあり、その対策について検討します。



## 関係者からの声

- 今後も捕獲調査を続けてほしい。(生産者)
- 場所によっては在来のクサガメがとれる割合が高くなった。(生産者)
- アメリカザリガニが増えてきた。(生産者)

## 高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922